

許すな！東電温存と損害賠償の上限設定

原子力損害賠償機構法案を廃案に！ 原賠法の改悪阻止！！

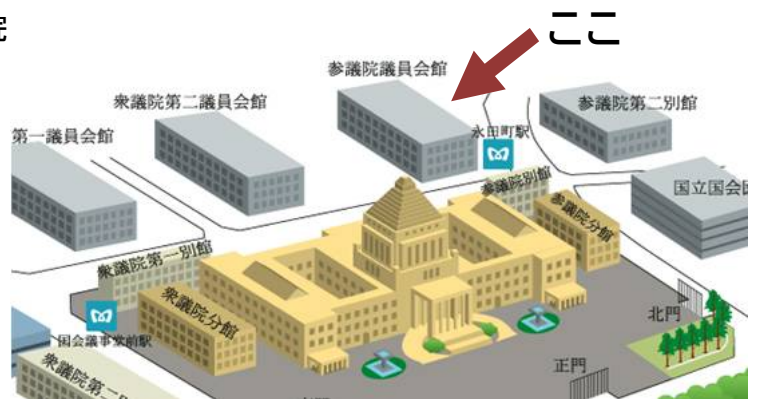
現在、福島第一原発の賠償に関して、東京電力を支援するための原子力損害賠償支援機構法案と、野党提出の仮払法案が国会で審議されています。しかし、両法案の修正協議において、現在の原子力損害賠償法の無限責任原則を変更し、賠償負担に上限を設ける法改正を進めるとの附帯決議を行うことが与野党間で検討されています。

現在の法制度では、原発事故で生じた損害に対する賠償に限度はありません。ところが、これに上限が定められれば、将来の原発事故による多くの被害者—死亡者、負傷者、職を失った人たち、土地を失った人たち、避難を余儀なくされた人たち等々—に対して、賠償額のカットがなされることになります。

このような附帯決議付きの法案が、26日に衆議院を通過しようとしています。

事故被害者の犠牲の下に原発政策を推進していくための法改正を断じて許すことはできません。また、東電の温存のための、原子力損害賠償機構法案を認めることもできません。

みなさん、怒りの声をあげていきましょう。
25日(月)、国会に集まりましょう！



■日時: 7月25日(月) 13:00~15:00

■場所: 参議院議員会館 講堂(東京都千代田区)

最寄駅: 東京メトロ 丸ノ内線 千代田線 国会議事堂前駅

有楽町線 半蔵門線 南北線 永田町駅

(どなたでも参加できます。12:30からロビーで入館証を配布します)

■内容(予定):

- ・原子力損害賠償支援機構法案の影で～原賠法の改悪が意味するところ
只野靖、福田健治／弁護士
- ・これは、「東電救済法案」だ！ 堀江鉄雄／東電株主
- ・怒りのアピール(参加者の皆さん、どうぞご意見を！)
- ・国会議員からの発言

■参加費 無料

■主催 eシフト(脱原発と新しいエネルギー政策を実現する会)
国際環境NGO FoE Japan、グリーン・アクション、福島原発事故緊急会議
福島老朽原発を考える会(フクロウの会)

■問い合わせ 国際環境NGO FoE Japan 満田(みつた) 携帯:090-6142-1807